

会 議 録 (1)

会議の名称	平成30年度第2回桶川市総合教育会議		
開催日時	平成31年1月25日(金) (開会)午後3時00分・(閉会)午後4時58分		
開催場所	桶川市役所 会議室401		
出席者構成員	小野克典(市長)、岩田 泉(教育長)、水村実男(教育長職務代理者)、 小野原典子、青木健志、西永和子、秋山節子		
欠席者構成員	なし		
傍聴人数	2名		
事務局職員 職名及び氏名	企画調整課	教育総務課	学校支援課 学務課
会 議 事 項	議 題		
	1. 議題		
	(1) 「英語教育」について		
	(2) 「教育機器の活用」について		
2. 報告事項			
(1) いじめの状況報告			
(2) 学校運営協議会について			
決定事項等			
1. 議題			
(1) 「英語教育」について：審議継続			
(2) 「教育機器の活用」について：審議継続			
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回桶川市総合教育会議次第</li> <li>・ 英語教育について(議題(1)資料)</li> <li>・ 教育機器の活用について(議題(2)資料)</li> <li>・ いじめの状況報告(報告事項資料)</li> <li>・ コミュニティ・スクールQ&amp;A、 コミュニティ・スクールNEWS①② (報告事項資料)</li> </ul>		

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
教育長	平成30年度第2回桶川市総合教育会議を開会する。
市 長	<p>日程第1 あいさつ (市長あいさつ要旨)</p> <p>1/14に成人式が行われた。対象者726人、当日参加者565人で、和やかかつ厳粛な式ができた。オープニングでのPINKDIAMONDSのパフォーマンスでは心が一つになり、新成人の心に「しっかりしよう」との思いが芽生えたと思う。感動した成人式だった。</p> <p>青木委員が長年の活動により全国PTA連合会から表彰を受けた。PTA活動の一環として、先日は「手をつなごうべにばな講演会」が行われた。立派な成人式ができたのも、日頃から学校・家庭・地域に育てていただいたお陰と感じた。</p> <p>教育事業では、今年度は4校のトイレ改修等工事が完了した。きれいになり子供達に喜んで頂いている。総合運動場改修事業は、計画的な整備をしていきたい。また、坂田図書館の4月オープンと3館の改称と体制変更(指定管理制度導入)を実施し、4館のネットワークを活かしたサービスの充実に努めてまいりたい。</p> <p>限られた時間だが、課題解決に向けた実りある意見交換のため活発なご意見を頂戴したい。</p>
教育長	<p>(教育長あいさつ要旨)</p> <p>新学習指導要領に関連する小学校の英語教育並びに教育機器の活用について議題とする。これに関して、委員の皆様と他市を視察したので報告する。また、いじめの状況報告と、学校運営協議会の設置の進行状況報告をする。</p> <p>地域に根差した学校が、元気に、未来を担う子供たちが生き生きと学べる教育環境づくりを実現できるよう、忌憚のないご意見を頂戴し相互理解を深めて参りたい。</p>
教育長	日程第2 議題
事務局	<p>(1)「英語教育」について事務局から説明し、その後に協議とする。</p> <p>(資料に基づき説明し、東小4年生の外国語活動の授業映像を視聴)</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	<p>国際化が進み、コミュニケーション能力が最重要視される社会の変化に対応するため、英語教育の充実が求められている。学習指導要領の改訂のたびに社会のニーズに合わせて徐々に重点化され、小学校 3・4 年生に外国語活動、小学校 5・6 年生には教科としての外国語が導入されることとなった。</p> <p>英語教育については 1990 年代に文部科学省が本格的に検討を始め、4 つのステージに分けられている。第 4 ステージでは教科化され、完全実施となる平成 32 年度に向けて今年度から移行している。</p>
教育長	意見はあるか。
構成員	<p>1/16 に鴻巣市立大芦小学校を見学した。「英語科」の授業は市内の小学校より進んでいた。書くこと、読むこと、発音の教育をすべて行っていた。</p> <p>ALT の増員による常時配置、ICT の強化について予算も含めて早急に対応していかないと、文科省の提示や近隣他市に対して遅れてしまうと痛切に感じた。</p>
教育長	<p>国として力を入れていく中で、主導権は市町村に委ねられていることに矛盾は感じる場所である。それぞれの課題をどう捉えているか、意見交換をしながら英語教育について理解を深め、必要があれば次回も協議したいと考える。</p> <p>他に感想や意見はあるか。</p>
(協議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大芦小学校を見学し非常に危機感を覚えた。発音のレベルが高く、中学校や高校の内容と感ずるほどの授業であった。以前に見学した桶川市内の小学校との内容の差を感じた。同学年の子供達にとって、高校、大学の受験で大きな開きが出る。鴻巣市は特区であるが、桶川市も遅れをとらずに力を入れていくべきと感じた。</li> <li>・3～4 年前にも市内で外国語活動を見学した。大芦小学校での教科化された英語の授業とは全く違うと感じた。制度が移行されて英語の授業が増えるとの情報は得ていたが、現実にかう動くのだと強い印象が残った。</li> <li>・資料 4 ページの表にある C 市・D 市は完全移行され 70 時間の授業を行っている。1 校あたりの ALT 配置数が、D 市と桶川市では明らかに違う。C 市は桶川市とそれほど変わらないが、どんな対応をとっているのか教えてほしい。</li> </ul>
事務局	C 市は、教育特区として文部科学省の認定を受けて特別の授業を組んでいる。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
構成員	<p>桶川市との大きな違いの一つは学校数である。桶川市では1校あたり、50時間で0.55人だがC市は70時間で0.59人である。</p> <p>もう一つは、英語の専科教員の配置である。教室で担任が教えることと違い、中学校教員や小学校教員の中でも特に英語を得意とする教員が教室に派遣されて専門的な授業ができる。中1・中2英語の授業を先行した授業ができる。</p> <p>更に、全教室への大型モニターを配置がある。準備を進めた上での70時間の実施と考える。同じ環境を与えるには文部科学省から与えられている音声教材の充実が必要と考えられる。</p> <p>目の前に迫る英語教育について、人の配置が重要と考える。</p> <p>ALT や専科教員が行ったことを次の年に積み上げていくことや、別の小学校で学んだ子供が同じ中学校に進学する時の差が無いように、どの小学校でも同じような授業が行えるよう調整が必要である。</p> <p>そのためには、どれだけ市内で連携したり研究したりできるか、だと考える。</p>
教育長	<p>桶川市の小学校と中学校は、1対1の対応ができていない。1つの小学校から2つの中学校に分かれたり、1つの中学校に複数の小学校から来たりする状況の中、その差を作らない教育行政にしないといけない。重要なことだと思う。</p>
構成員	<p>日本の英語教育の欠点は英語が聞き取れないことから会話が進まないことだと感じる。英語を母国語とするALTの配置は、その言葉を子供達が耳で覚えることがねらいである。全国で70時間実施となるが、ALTの人数と質の良さを確保しないといけない。毎年、契約で人が変わると混乱が生じる。核となる人を確保すべきと考える。</p>
教育長	<p>鴻巣市では、市教委に各校のALTを指導する職員としてのALTを3年間雇用し、質の均一化に対応しているとのことである。</p>
構成員	<p>指導力の向上について、小学校の先生が英語を指導する前提になっておらず、個人の努力で資格を取得するとのことだった。そのための補助や手当はあるか。</p>
事務局	<p>英検の取得等のための補助金は無く、近隣でも事例を聞いていない。</p> <p>大学での小学校教員免許養成課程には外国語が入っているので、これから教員免許</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
教育長	<p>を取得する方には小学校教員で外国語に対応できる方がいると思われる。</p> <p>若い教員はあまり抵抗が無いように聞くと、中堅職員以上には研修が必要かもしれない。</p>
構成員	<p>中学校の英語の先生が小学校で教えるため、あるいは、小学校の先生が英語を教えるために、別の免許を取得する必要はないと考えてよいか。</p>
事務局	<p>専科教員がそれに当たる。新たに資格を取得する必要はない。</p>
構成員	<p>英語教育の全面実施時に有効なのが大型モニターである。市内での平均 3.9 台の配置状況では全面実施となる再来年度は厳しいと思う。全教室への整備を視野に入れて進めないと完全実施できないと思う。</p>
構成員	<p>小学校で苦手意識をもつと、中学校・高校でもつまづいてしまう。「英語は楽しい」と学ぶことを小学校 3 年生 4 年生で行っていただき、英語に苦手意識をもたないようにすることを切にお願いしたい。</p>
構成員	<p>A L T が 1 校に 1 人ではないようだが、どうなるのか。</p>
事務局	<p>現在は 2 校兼務している。今後の兼務の組み合わせは未定である。同じ小学校でも 5 年生と 6 年生で別の ALT となるかもしれない。</p>
構成員	<p>大芦小学校では子供たちが生き生きとしていた。あのような授業であれば、その先も、怖いな、嫌だなという感覚をもたずに進学できると思う。ただ、働き方改革と言われて久しいが全面実施により先生の負担が増えると思う。個々の努力では難しく、A L T や専科教員の力を借りていかなければならないと感じる。</p>
教育長	<p>《協議のまとめ》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 質のよい A L T と、その人数を確保すること。</li> <li>② 先進校の視察から、これから先の進学や受験を考えると危機感を感じたこと。</li> <li>③ 桶川では小・中学校が 1 対 1 にはなっていないため、中学校での差異を出さないような平等性・公平性を小学校のうちに措置すること。</li> <li>④ 苦手意識を生じさせないよう中学校へつなぐこと。</li> <li>⑤ 英語科が学習指導要領に含まれても、担任の負担増に拍車がかからないようにすること。</li> <li>⑥ 授業数が増えるため、大型モニターなどハード面の充実が必要であること。</li> </ol>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
市 長	<p>人の増員をしたら均一化をどうするのか、また、ハードを導入してどう活用するか の準備がポイントとなる。全教室に整備したいが厳しい財政状況である。しっか りと課題をおさえて予算折衝し、実りある教育ができるようにしていただきたい。</p>
教育長	<p>課題は多いが、実効ある教育活動が展開できるようなロードマップを準備したう えで対応していくよう、ご指導いただいたところである。</p>
事務局	<p>次に、(2)「教育機器の活用」について事務局から説明する。 (資料に基づき説明)</p> <p>国の第2期教育振興基本計画では目標を提示したが、現実には整備状況に地域格差 があり、次期学習指導要領で求められる ICT を活用した教育の実現に差を生じさせ ると考えられている。そのため、文部科学省では、第3期教育振興基本計画を踏ま えた新学習指導要領実施に向けての学校での ICT 環境整備の推進について平成30年 7月に通知した。その中で指針を示し、財政措置の積極的な活用を促して ICT 環境 の整備を喫緊の課題としている。</p> <p>整備の現状として、電子黒板は、国が26.8%に対し桶川市がおよそ13.0%であ る。教育用コンピュータ(学習用)は国では1台につき5.6人のところ埼玉県は7.9 人で整備状況は全国47位である。文部科学省が示した整備のステップでは平成32 年度までにステージ3としているが、桶川市はステージ1まで至っていない。</p> <p>機器の活用ができなければ環境が整備されても宝の持ち腐れとなってしまうの で、教職員の ICT 活用能力向上のために、桶川市の教育研究会と連携して研修を実 施し、校内の人材育成に努めたい。</p>
教育長	<p>とりわけ大型モニターに対するニーズは高いようである。</p> <p>本議題に対する意見交換を始める。</p>
(協議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川田谷小では体育の授業で iPad を使って運動中の姿勢の確認に利用していた。先 生方もあまり抵抗なく大型モニターを利用しているように感じた。高価な物なの で計画を立てていく必要がある。家庭に有る子と無い子がいるので、学校ではみ んなが触れる環境をつくる必要がある。</li> <li>・ブラウン管テレビが無くなった時に、各教室に液晶デジタルテレビを、整備しな</li> </ul>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	<p>かった事に、憤りと恥ずかしさを感じる。パソコンは、人数に適した台数が無いと手にできなかった児童は見ているだけとなり、授業から遅れてしまう。ハードは人数分の整備をしないと子供達が可哀想だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板について、国の指針では各クラス1つだが、2、3教室で1つでは不足なのか検証してほしい。</li> <li>・教科書選定に携わったところ、必ずCDや電子教材が付いていた。どの教科でも、目で見て教わることは教育力を高める。電子黒板や大型モニターなどを使って質の高い教育をしていく必要があると感じる。</li> <li>・先生たちが手作りしている教材をデジタル教材で置き換えられれば、教材づくりに充てている時間を子供達との対話に生かせるのではないか。いじめ対策や子供からの相談に対応するなど、授業と違うところでも意義あると考える。</li> <li>・電子黒板や大型モニターは移動が大変なので、まずは各フロアに1台整備してほしい。パソコンは家庭で触って覚えられる子もいる一方、家庭には無い子もいる。学校でみんなが触れられるような整備が必要と思う。</li> <li>・20台では1人1台使えず強い子が独占してしまうことがある。</li> <li>・大型モニターは、最低でもフロアに1台は欲しいのが現場の声である。</li> <li>・現場は教室であり、教室で使えない物では意味がない。パソコンルームの中だけでなく、無線LANでイントラネットをつなげれば教材の利用もでき、働き方改革の一環となるので考えて欲しい。</li> </ul>
市 長	<p>構成員が述べたように、体育の授業等で、子供達が目で見て活用することができている。活用の仕方によって、色々な教科でICTは教育効果を上げられると感じる。三島市でも教育効果は上がったと聞いた。教育機器展を見に行き、支援ソフト等様々な見本を見たので、教育委員会でも情報を得て欲しい。</p> <p>教育機器は将来に向けた投資であるが、財政面では一般財源が厳しい状況のため、補助金や起債など導入に向けて有効活用できることを検討してもらいたい。</p>
教育長	<p>《協議のまとめ》</p> <p>① 教育機器に対する考え方を整理し、優先順位をつけること。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	<p>② ハード面は、教育の平等性から全員が享受できるように整備すべきである。</p> <p>③ 必要な質と量を検証して導入すること。必要状況の確認をすること。</p> <p>④ 付録教材や補助教材など市販品を活用できる環境をつくること。教員が子供と接する時間の充実を図ることで、いじめ・不登校対策にもつながる。</p> <p>⑤ 大型モニター整備がメインではあるが Wi-Fi 環境も整備したい。</p> <p>⑥ 補助金、交付金、起債の活用等を研究し、教育機器の充実に資するものを見つけて、できることを考えること。</p> <p>⑦ 桶川市教育委員会として翌年度に向けてここまで整備したいという内容を次回会議で提案したい。</p>
教育長	<p>日程第3 報告事項</p> <p>(1) いじめの状況報告について、事務局から説明する。</p>
事務局	<p>(資料に基づき説明)</p> <p>12月31日時点で、小学校129件、中学校18件である。そのうち、解消数は、小学校65件、中学校6件である。平成28年度、29年度の調査時点で解消していなかったものは全て解消している。</p>
構成員	<p>小学校2年生から5年生が多いことについての見解は。</p>
事務局	<p>ギャングエイジと呼ばれる年代で、コミュニケーション力が未発達なことから、悪口や、からかいの件数が多く、それらもいじめと積極的に認知した結果と考える。</p>
構成員	<p>いじめの内容について、悪口や仲間はずれなど、傾向に変化はあるか。</p>
事務局	<p>言葉によるいじめが一番多い。以前は意地悪と捉えていたものでも今は「いじめ」と捉えている。内容として同じ傾向である。</p>
構成員	<p>同学年同士か、他学年からか、調査はしているか。</p>
事務局	<p>圧倒的に同学年が多い。他学年は、小学校は通学班、中学校は部活動などがある。</p>
市長	<p>平成30年度が急に上がった理由は何か。</p>
事務局	<p>些細な事でも、積極的にいじめと認知することが子供に十分目をかけること、との国や県の方針もあり、事務局でもそのように指導した結果と思われる。</p>
市長	<p>些細であっても初期に対応し、深刻な状況を防ぐということか。</p>



議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
構成員	先生が対応した件数、ということか。
構成員	アンケートには書けない子、言えない子はこのような結果に表れないので、数値はもっと多いと思う。
教育長	ベテラン職員なら表情等で気づくこともあるが経験が少ないと難しい。だからこそ見方を勉強する必要があるが、教員にはとても時間の足りない状況となっている。
構成員	この数値はアンケートに記名した分か、無記名分も入れてあるか。
事務局	アンケート以外に、先生が把握したものも全て含めた数値である。
教育長	次に、(2) 学校運営協議会の進捗状況について、事務局から説明する。
事務局	平成 31 年度より、加納小学校と川田谷小学校をモデル校として学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールとする見込みである。 今年度は準備委員会を 5 回実施した。文部科学省のコミュニティ・スクールマイスターを招き、モデル校以外の管理職や PTA 関係者にも参加いただき講演会を行った。それぞれの組織作りと行える取組を審議した。また、設置にあたっては規則の制定が必要なため内容について意見をいただいた。 現在は、規則について 2 月の定例会で議案とするよう準備中である。また、非常勤特別職の報酬についての条例改正案を 3 月議会で提案する予定である。 学校職員、市役所等窓口に、コミュニティ・スクールニュースと Q&A を配布した。ほかに本庁舎のデジタルサイネージ（屋外や店頭などに設置された液晶ディスプレイなどの映像表示装置）を利用して啓発を行っている。来年度から 3 年間を目途に、市内全校への設置ができるよう関係部署との連携を図っていく。 (構成員からの質疑なし)
(協議)	日程第 4 その他 次回の会議日程は、今後の調整とする。
教育長	以上で、平成 30 年度第 2 回総合教育会議を閉会する。